



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ商事株式会社  
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画室長 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 法人向け )

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,949	14.4	562	81.4	601	48.2	391	70.4
27年3月期第2四半期	12,193	3.8	310	99.7	405	109.4	229	274.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 356百万円( 27.7%) 27年3月期第2四半期 279百万円( 84.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	34.19	—
27年3月期第2四半期	20.03	—

(注) 対前年同四半期増減率は、新たに連結子会社とした旭テック株式会社の業績を含めて表示しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	28,067	11,691	41.7
27年3月期	29,343	11,421	38.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,691百万円 27年3月期 11,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	33,000	17.7	1,500	18.2	1,550	7.4	950	12.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

対前年同四半期増減率は、新たに連結子会社とした旭テック株式会社の業績を含めて表示しております。

業績予想の修正については、平成27年10月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

### 会計方針の変更に関する注記

#### (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	12,400,000株	27年3月期	12,400,000株
28年3月期2Q	962,906株	27年3月期	962,906株
28年3月期2Q	11,437,094株	27年3月期2Q	11,437,094株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の対する四半期レビュー手続が実施中です。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	2
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	10
	(重要な後発事象)	11
4.	参考情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、各種政策の効果などにより、総じて企業収益や設備投資は改善の傾向にあり、景気の一部に弱さが見られるものの、緩やかな回復基調が続いている状況となりました。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るように努めました結果、売上高は139億49百万円となり、前年同四半期と比べ17億56百万円(14.4%)の増収となりました。

営業利益は販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上総利益の増加により5億62百万円となり、前年同四半期と比べ2億52百万円(81.4%)の増益となりました。

経常利益は受取配当金の減少はあったものの、営業利益の増加から6億1百万円となり、前年同四半期と比べ1億95百万円(48.2%)の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は3億91百万円となり、前年同四半期と比べ1億61百万円(70.4%)の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。なお、プラント・設備工事関連は前連結会計年度末より加えたため、同セグメントの前第2四半期連結累計期間との比較は記載しておりません。

資源・金属素材関連では、中国の景気後退から業界全体に不透明感があったことから厳しい状況が続き、関連部門の売上高は51億94百万円となり、前年同四半期と比べ3億72百万円(7.7%)の増収となりましたが、営業利益は1億3百万円となり、前年同四半期と比べ16百万円(△13.7%)の減益となりました。

産機・建機関連では、国内の設備投資が比較的順調に推移したことにより、関連部門の売上高は33億87百万円となり、前年同四半期と比べ5億24百万円(18.3%)の増収となりました。営業利益は6億30百万円となり、前年同四半期と比べ2億9百万円(49.9%)の増益となりました。

環境設備関連では、主力のポンプ類の販売が低迷したことにより、関連部門の売上高は5億55百万円となり、前年同四半期と比べ2億53百万円(△31.4%)の減収となりました。営業利益は71百万円となり、前年同四半期と比べ23百万円(△24.5%)の減益となりました。

プラント・設備工事関連では、工事関連が順調に推移したため、関連部門の売上高は14億6百万円となり、営業利益は1億39百万円となりました。

化成品関連では、自動車向けなどの商品が安定的に推移したものの、飯能工場閉鎖による減収などにより、関連部門の売上高は33億18百万円となり、前年同四半期と比べ2億93百万円(△8.1%)の減収となりました。営業利益は29百万円となり、前年同四半期と比べ20百万円(△41.1%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、引き続き効率化を進めたことにより、関連部門の売上高は1億49百万円となり、前年同四半期と比べ61百万円(71.0%)の増収となりました。営業利益は34百万円となり、前年同四半期と比べ0百万円(2.3%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は280億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億75百万円の減少となりました。

#### (資産)

流動資産は175億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億9百万円の減少となりました。これは主に、未完工事支出金7億11百万円、商品及び製品2億21百万円の増加等がありました。受取手形及び売掛金16億92百万円、現金及び預金6億59百万円の減少等によるものです。

固定資産は105億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億66百万円の減少となりました。これは主に、保険積立金89百万円の減少等によるものです。

#### (負債)

流動負債は93億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億25百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金34億74百万円、支払手形及び買掛金8億7百万円の減少等によるものです。

固定負債は70億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億80百万円の増加となりました。これは主に、社債2億37百万円の減少等がありましたが、長期借入金29億64百万円の増加等によるものです。

#### (純資産)

純資産は116億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億69百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金3億4百万円の増加等によるものです。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、(資金)という。)の残高は27億15百万円となり、前年同四半期に比べ7億49百万円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により発生した資金は49百万円の増加となりました。(前年同四半期は2億45百万円の減少)これは主に、たな卸資産の増加9億32百万円、仕入債務の減少8億39百万円、法人税等の支払額6億23百万円の資金の減少等がありました。また、売上債権の減少15億16百万円、税金等調整前四半期純利益による6億6百万円、未成工事受入金の増加4億円の資金の増加等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により発生した資金は51百万円の増加となりました。(前年同四半期は68百万円の増加)これは主に、保険積立金の85百万円(純額)の資金の増加等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により発生した資金は7億59百万円の減少となりました。(前年同四半期は2億11百万円の増加)これは主に、短期借入金及び長期借入金の3億75百万(純額)、社債の償還の2億97百万円の資金の減少等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内では各種政策の効果もあって、企業の収益は改善傾向になり、景気は緩やかに回復していくことが期待される状況ながら、海外では、中国経済の不透明さ、国際的な政治的不安定さから国内景気に影響を及ぼすリスクがあるなかで、当社の資源・金属素材関連で扱う各種商品は国際的市況の変動により業績に影響を及ぼす可能性があります。また、産機・建機関連、環境設備、化成品関連及びプラント・設備工事関連で取扱う商品は、国内製造業を主体としたものであり、国内外の経済動向、設備投資動向の変化により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に伴う費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	3,374	2,715
受取手形及び売掛金	9,146	7,454
完成工事未収入金	771	946
商品及び製品	4,224	4,445
未成工事支出金	874	1,586
原材料及び貯蔵品	8	7
繰延税金資産	213	212
その他	58	193
貸倒引当金	△7	△6
流动資産合計	18,664	17,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,327	4,334
減価償却累計額	△2,124	△2,185
建物及び構築物（純額）	2,203	2,149
機械装置及び運搬具	344	341
減価償却累計額	△309	△310
機械装置及び運搬具（純額）	34	31
土地	5,470	5,470
その他	1,536	1,569
減価償却累計額	△1,484	△1,503
その他（純額）	51	66
有形固定資産合計	7,760	7,717
無形固定資産		
のれん	51	38
その他	108	92
無形固定資産合計	159	131
投資その他の資産		
投資有価証券	1,830	1,787
繰延税金資産	14	15
保険積立金	740	651
その他	186	222
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	2,758	2,663
固定資産合計	10,678	10,512
資産合計	29,343	28,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,697	3,889
工事未払金	320	289
短期借入金	5,674	2,200
1年内返済予定の長期借入金	958	1,092
1年内償還予定の社債	594	534
未払法人税等	629	209
賞与引当金	208	220
事業整理損失引当金	103	98
その他	391	819
<b>流動負債合計</b>	<b>13,577</b>	<b>9,352</b>
<b>固定負債</b>		
社債	703	466
長期借入金	2,625	5,590
繰延税金負債	505	487
退職給付に係る負債	317	287
その他	192	192
<b>固定負債合計</b>	<b>4,343</b>	<b>7,023</b>
<b>負債合計</b>	<b>17,921</b>	<b>16,376</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,854</b>	<b>1,854</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,642</b>	<b>1,642</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>7,971</b>	<b>8,276</b>
<b>自己株式</b>	<b>△290</b>	<b>△290</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>11,176</b>	<b>11,481</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>247</b>	<b>209</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	<b>△2</b>	<b>0</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>245</b>	<b>209</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,421</b>	<b>11,691</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>29,343</b>	<b>28,067</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	12,193	13,949
売上原価	10,305	11,452
売上総利益	1,888	2,497
販売費及び一般管理費	1,578	1,934
営業利益	310	562
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	67	19
受取家賃	19	18
持分法による投資利益	13	25
保険返戻金	10	—
その他	13	21
営業外収益合計	125	86
営業外費用		
支払利息	16	25
社債利息	9	5
保険解約損	—	6
その他	3	8
営業外費用合計	29	47
経常利益	405	601
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	25	4
特別利益合計	29	4
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券売却損	22	—
事業整理損失引当金繰入額	15	—
その他	—	0
特別損失合計	39	0
税金等調整前四半期純利益	395	606
法人税等	166	215
四半期純利益	229	391
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	229	391

## 四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	229	391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△37
繰延ヘッジ損益	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	49	△34
四半期包括利益	279	356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279	356
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	395	606
減価償却費	69	107
のれん償却額	12	12
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△35	△29
賞与引当金の増減額（△は減少）	8	11
受取利息及び受取配当金	△67	△19
支払利息及び社債利息	26	31
持分法による投資損益（△は益）	△13	△25
固定資産除売却損益（△は益）	△2	△0
売上債権の増減額（△は増加）	1,020	1,516
たな卸資産の増減額（△は増加）	△401	△932
未収入金の増減額（△は増加）	△32	△85
未取消費税等の増減額（△は増加）	△27	△12
長期前払費用の増減額（△は増加）	—	△41
仕入債務の増減額（△は減少）	△739	△839
未払金の増減額（△は減少）	△66	△12
未払消費税等の増減額（△は減少）	△73	△5
未成工事受入金の増減額（△は減少）	—	400
その他	△12	△4
<b>小計</b>	<b>61</b>	<b>677</b>
利息及び配当金の受取額	74	26
利息の支払額	△27	△31
法人税等の支払額	△353	△623
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△245</b>	<b>49</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10	△41
有形固定資産の売却による収入	24	0
無形固定資産の取得による支出	△12	△7
投資有価証券の売却による収入	66	11
保険積立金の積立による支出	△47	△41
保険積立金の払戻による収入	51	127
その他	△3	4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>68</b>	<b>51</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	350	△3,474
長期借入れによる収入	600	3,600
長期借入金の返済による支出	△252	△501
社債の償還による支出	△400	△297
配当金の支払額	△86	△86
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>211</b>	<b>△759</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	35	△659
現金及び現金同等物の期首残高	1,929	3,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,965	2,715

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連	
売上高						
外部顧客への売上高	4,822	2,863	808	3,612	87	12,193
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	2	2
計	4,822	2,863	808	3,612	90	12,196
セグメント利益	119	420	94	49	34	719

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	719
全社費用(注)	△409
四半期連結損益計算書の営業利益	310

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	5,194	3,387	555	1,406	3,318	88	13,949
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	60	60
計	5,194	3,387	555	1,406	3,318	149	14,010
セグメント利益	103	630	71	139	29	34	1,009

(注) 「プラント・設備工事関連」は、平成26年12月に旭テック株式会社の全株式を取得したことにより、前連結会計年度より、報告セグメントに加えております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,009
全社費用(注)	△446
四半期連結損益計算書の営業利益	562

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 参考情報

## 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

平成28年3月期第2四半期の個別業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

## (1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
28年3月期第2四半期	9,137 7.1	349 46.0	379 36.0	244 39.6
27年3月期第2四半期	8,528 9.3	239 142.4	279 79.0	175 210.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	21.25	—
27年3月期第2四半期	15.22	—

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	17,479	10,536	60.3
27年3月期	18,855	10,409	55.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,536百万円 27年3月期 10,409百万円